

⑥ 正常値

甲 号証	標 目	原本・ 写し	作成年月日	作成者・発行社	要 点
17 85	獣医臨床病理学 (抜粋) [17]p223 尿素窒素 [85]p225 クレアチニン	写し	H10. 6. 20	編集:小野憲一郎、 太田亨二 (株)近代出版発行	尿素窒素(BUN)の基準値は10~28 mg/dℓ。 クレアチニン(Cr)の基準値は0.5~1.5 mg/dℓ。
18-1	獣医臨床検査 その解 釈と診断への応用 (抜粋) p335~337 血液検 査正常値一覧	写し	H8. 6. 20	監訳:石田卓夫 文永堂出版(株)発行	クレアチニン 0.5~1.5 mg/dℓ、尿素窒素は 12.0 ~25.0 mg/dℓ、リン 2.2~5.5 mg/dℓ。 蛋白(TP) 5.4~7.7g/dℓ、アルブミン 2.3~ 3.8g/dℓ。
35	獣医救急治療マニユ アル (抜粋) p185~186,189 血 液ガス	写し	H15. 11. 20	監訳:鷺巣誠 (株)インターズー発 行	正常範囲は、pHは7.35~7.45 PCO2は35~45 mmHg HCO3は18~24mmol/L PO2は80~110 mmHg PvO2(静脈のPO2)は40~50 mmHgである。
78	獣医内科学小動物編 日本獣医内科学アカデミ ー編 (抜粋)p619, 622, 625 ~627 臨床検査項目の 基準範囲	写し	H17. 5. 25	監修:辻本元 文永堂出版(株)発行	血液化学的検査の基準範囲は、総蛋白(TP)は 5.4~7.1g/dℓ、BUNは10~28 mg/dℓ、Crは 0.5~1.5 mg/dℓである。 動脈血液ガスのPCO2は36~44 mmHg、PO2は90 ~100 mmHg。尿比重は1.015~1.045である。
80	犬と猫の診断と治療 (抜粋) p127~128 心電図検査	写し	H16. 7. 25	監訳:岩崎利郎、 桃井康行 (株)インターズー発 行	犬のトイ種の心拍数正常値は70~180。
81	小動物の臨床病理学 マニュアル日本獣医臨 床病理学会編 (抜粋)p300 尿比重	写し	H15. 11. 10	監修:小野憲一郎、 高橋英司 (株)学窓社発行	犬の尿比重の正常範囲は1.015~1.045である。
83	獣医救急治療マニユ アル (抜粋) p2172、2174 血液検査参考値	写し	H15. 5. 31	監修:長谷川篤彦 山根義久 (株)学窓社発行	クレアチニン 0.5~1.6 mg/dℓ、尿素窒素 8.8~ 25.9 mg/dℓ。
87	小動物ハンドブック (抜粋) p74~75 心電図	写し	H18. 12. 10	編集:高橋英司 (株)朝倉書店発行	愛玩犬の心拍数の正常値は80(休息時)~180(興 奮時)である。